

市長が掲げてきた「子育て一番のまち」について

市長はなぜ「一番」との文言を用いたのか

子育て一番のまち「実現に取り組んできた市の自己評価は存在するの

重要課題の一つであるという本気度と決意を表現

行政の評価として、次世代支援計画の進捗状況を整理し公表している

高齢になっても住み続けられるまち「高齢者福祉施策について

来年度からの第5期介護保険事業計画においての

介護保険料の設定について、狛江市の介護給付準備金の残高は、平成22年度末で4億4290万3195円になる

亀井和美

市長の掲げる「東京一安全な都市」狛江はどんなまち

「東京一安全な都市」狛江の「安全」とは

市長がこだわるランキング一等地の考え方、今後の災害対策に女性の視点は生かされているか

災害時要援護者に対する対策、社会的な危険に対する備え・対策が整っていること、市民自身が実感、数値の比較はそのあらわれのひとつ、男女共同参画の視点を努力、物資・居住スペース等に配慮

がんの早期発見にはがん検診の充実を

がん検診の受診目標50%に対する市の取り組み

達成に向けての見解、前立腺がんの早期発見に対するPSA検査の認識、子宮頸がん検診でHPV検査導入に対する認識

個別通知の実施や受診の啓蒙・啓発に努めてきた

来年度の50%達成は、不可能、有効であると認識している

市長選マニフェストの病児保育、本当に北部地域に開設できるのか

子育て支援における病児・病後児保育の必要性

アンケートの分析結果、多かった要望は、北部地域への開設に向け検討の結果、24年度の開設がなくなることがあるのか

安心して子育てができるため、環境整備を進めるため

現在の病児保育室は通園に不便、開園・閉園時間の延長等、施設設置以外の選択肢も含めて検討し形にしてい

佐々木 貴史

安全・安心なまちづくりについて

安心安全基本条例の進捗状況について

AED設置場所の職員のAED使用講習の受講状況は、AEDを市内テニスコートとグラウンドに設置を要望する

策定委員会は2回開催、現在市内PTで安心安全に関するデータや課題の調査・分析を行い必要な資料作成中

施設職員は受講している、指定管理者と協議し検討する

安全な道路行政について

都市計画道路3・4・17号線(都道)の開通時期は

都道と既存道路の交差点部分の安全対策は、道路管理の不備で事故が多発している状況

平成23年度末開通目指し事業を進めている

今年度道路点検調査を実施し、来年度に道路補修計画づくりを進めていきたい

再編方針と今後の財政フレームに生じる

再編方針がどう考えるのか、再編方針を見直す考えはあるのか、中の「教育環境の悪化」というのはどう認識から出たのか

実施計画のローリングの中でフレーム見直しをする

現時点では考えていないが、実施計画のローリングで柔軟な対応を図る

平成10年の教育委員会の考え方から、正木 きよし

前議会以降の経過と市の対応

埋蔵文化財にまつての対応

有識者がまとめた報告書の中で、地域住民の側に立ちながら中立的な対応をと指摘されたことについて

調整会3回、7月9日と30日に土壌調査手法分析結果・解析評価業務委託の説明会

文化財保護法にのっとり対応を依頼、今後とも住環境を守ることを前提に努力する

エネルギー政策の見直しについて

自然エネルギーの活用

市民にどのような電力の使い方を願っているのか

国と都の住宅用太陽光発電補助は、市の補助と併用できるか

今年度の市補助は、啓発や助成制度などによる誘導を行う

省エネ、節電を中心とした暮らし方の見直しを提言する

併用は可能、今年度の助成計画はない

新たに始められた「高温注意報」について

都の補助事業の活用、電話や手紙等でお礼

市民参加の推進について

基本条例を8年運用され、提案時点と現時点との違いはあるか

今後の市民参加・協働の展望は何か

20年度の参加の課題は、どのように改善したのか

参加市民の代表性の問題などがあるが、発展段階に合わせた新しい課題と考

住民自治のまちへの接近、無作為抽出方式の導入

情報提供など市民委員への配慮

給食の放射能対策は市の独自検査体制を整えデータ公表を急げ

子供の内部被曝を防ぐための市の対策

保育園給食の安心安全の確保は

地場野菜の学校給食への導入方針、生産者との話し合いをすべき

補助金活用し放射能測定を、安全・安心な食材を業者者に依頼

女性の参加は防災センター建設の意義、新たな機能と費用

男女双方の視点への配慮に努める

避難所等での女性視点の活用

100人以上の方々が参加

あらゆる災害への対応と、業務継続が可能な施設

9億8000万を想定、地下水を大切に集中豪雨対策にも雨水の有効利用を進めよう

基本計画での湧水復活

市民センターの漏れい地下水の経過と現状、有効利用は

雨水浸透ますの普及は

補助金の周知は万全か、西河原公民館の井戸について

地下水を涵養し、水循環を回復

建設時から湧出、地下水に放流、環境用水として地下に戻す

洪水の防止、地下水涵養に有効

東野川農地から住宅へ市民の望んだもの

土地所有者の協力を得られる制度変更を

景観の修景、接道緑化基準を

事業意見書で既存の緑の保護等が出されていた

今回は宅地造成事業だが、建築の部分であっても、意見を聞いていく

以上の放射能拡散を防げ、災害廃棄物焼却問題

上下水道副次産物の汚染実態

災害廃棄物焼却に対する三多摩の動きは、「住民の理解」とは

有効利用を停止し、仮置きまたは埋め立て

被災、都、公社で協定を結び協力処理する方向で調整中

地元や運搬にかかる沿道住民の理解なしに一方的に進められない

都道114号線開通とまちづくり

住民発意の説明会開催で出た課題



市原 広子

既存の緑を残したい、住宅開発に市民要望の反映を(その2)

詳しい内容は会議録をご覧ください